

2015年度 外国語学部中国語学科 教育課程表(2011から2013年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件 単位数	
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター			
	授業科目	担当者	授業科目	担当者	授業科目	担当者	授業科目	担当者		
共通必修科目	☆中国語演習 I a (基礎)A	1 山村 加藤	☆中国語演習 I a (基礎)B	1 山村 加藤	☆中国語演習 II a (総合)A	1 山口 村井	☆中国語演習 II a (総合)B	1 山口 村井	33	
	☆中国語演習 I b (基礎)A	1 鈴木(徳) 布川	☆中国語演習 I b (基礎)B	1 鈴木(徳) 布川	☆中国語演習 II b (作文)A	1 孫 松村	☆中国語演習 II b (作文)B	1 孫 松村		
	☆中国語演習 I c (リスニング)A	1 加藤 温	☆中国語演習 I c (リスニング)B	1 加藤 温	☆中国語演習 II c (リスニング)A	1 松村 丁	☆中国語演習 II c (リスニング)B	1 松村 丁		
	☆中国語演習 I d (会話)A	1 丁 陶	☆中国語演習 I d (会話)B	1 丁 陶	☆中国語演習 II d (コミュニケーション)A	1 劉	☆中国語演習 II d (コミュニケーション)B	1 劉		
			☆中国語演習 I e (作文)B 中国事情入門	1 彭 中村 2 山口						
特別必修科目群	言語		中国語演習 II e (コミュニケーション)A	1 彭	中国語演習 II e (コミュニケーション)B	1 彭	中国語演習 III b (コミュニケーション)A	1 劉	11	
	社会文化		中国語演習 II f(翻訳)A	1 山村	中国語演習 II f(翻訳)B	1 山村	中国語演習 III c (リスニング)A 中国語演習 III d(翻訳)A	1 加藤 1 彭		
	中国語演習 III e (社会事情)A 中国語演習 III f(翻訳)A	1 劉 1 孫								
専攻科目	A 群	中国政治経済概説A 中国社会概説A 中国歴史概説A	2 呉 本田 中村 2 2 2	中国政治経済概説B 中国社会概説B 中国歴史概説B ◆中国学概説 [夏期集中講義]	2 呉 本田 中村 木村 2 2 2 2	中国言語概説A 中国文学概説A	2 彭 戸井 2 2	中国言語概説B 中国文学概説B	2 彭 戸井 2 2	12 以上
	B 群					◆中国言語特講 I A ◆中国言語特講 I C ◆中国言語特講 II A ◆中国言語特講 II C ◆中国文化特講A ◆中国文化特講C ◆中国歴史特講A ◆中国歴史特講C ◆中国社会特講A ◆中国社会特講C ◆中国政治経済特講A ◆中国政治経済特講C	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講	◆中国言語特講 I B ◆中国言語特講 I D ◆中国言語特講 II B ◆中国言語特講 II D ◆中国文化特講B ◆中国文化特講D ◆中国歴史特講B ◆中国歴史特講D ◆中国社会特講B ◆中国社会特講D ◆中国政治経済特講B ◆中国政治経済特講D ◆中国学特講 [夏期集中講義]	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講 休講	16 以上
	C 群			中国語表現法演習 II (HSK基礎)A	1 布川	中国語表現法演習 II (HSK基礎)B	1 布川	◆中国語表現法演習 III a (読解応用)A ◆中国語表現法演習 III a (HSK応用)C ◆中国語表現法演習 III b (会話)A ◆中国語表現法演習 III b (翻訳)C	1 休講 1 山村 1 休講 1 温	◆中国語表現法演習 III a (読解応用)B ◆中国語表現法演習 III a (HSK応用)D ◆中国語表現法演習 III b (会話)B ◆中国語表現法演習 III b (翻訳)D ◆中国語表現法演習 III c (社会事情)B ◆中国語表現法演習 III c (ビジネス)D
関連科目	情報処理 I	2 尾子 岡田	情報処理 II	2 尾子 岡田						24 以上
	文化比較論 I	2 大島	国際文化論 I	2 山本	日本文化史 I	2 後田多	中国経済論 I	2 柳沢	「卒業要件単位数」を超える専攻科目(A群・B群・C群)、全学共通科目(外国語科目・教養系科目)、「教職に関する科目」、他学部他学科開講の専攻科目	
	文化比較論 II	2 伊坂	国際文化論 II	2 ウェルカー	日本文化史 II	2 前田(祐)	中国経済論 II	2 柳沢		
	文化比較論 III	2 小松原	国際文化論 III	2 伊坂	ジャーナリズム論	2 網谷	アメリカ経済論 I	2 戸田・萩原		
	文化比較論 IV	2 中林	国際文化論 IV	2 鳥越	広告文化論	2 大友	アメリカ経済論 II	2 戸田・萩原		
	文化比較論 V	2 石岡	国際文化論 V	2 大川	観光論	2 鈴木(徳)				

〔備考〕

- 1 ☆印は受講するクラスが指定される授業科目、◆は隔年開講科目を示す。

〔履修要件〕

- 1 同一授業科目を重複して履修することはできない。
- 2 一年間の履修単位数は各年次48単位（半期24単位）を上限とする（通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する）。ただし、2年次および4年次に限り特別の事情のある者は、学部長に申請することにより、進級・卒業要件単位数の不足分を上限として、超過履修を許可される場合がある。なお、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目の単位数はこの枠外とする。
- 3 専攻科目の中には履修資格や人数を制限する科目がある。
- 4 「中国学卒論演習B」は、原則として「中国学卒論演習A」を未修得のものは履修できない。
- 5 専攻科目のうち演習科目については、原則として他学部他学科の学生は履修することができない。ただし、学科および担当教員の認めた場合はこの限りではない。

〔コース制〕

- 1 2年次で学科所定の手続きにより、「言語コース」または「社会文化コース」のいずれかのコースを選択しなければならない。

〔進級要件〕

（2年次から3年次）

- 1 2年次終了までに、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち、60単位以上修得しなければならない。
 - （1）外国語科目（英語）4単位以上。
 - （2）言語コース履修者は、1・2年次共通必修科目および特別必修科目群（言語コース）の中国語演習16単位以上。社会文化コース履修者は、1・2年次共通必修科目の中国語演習12単位以上。

〔学外単位認定制度〕

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし、2012年度以前の入学者については、各セメスターの履修制限単位数には含めない。
- 1 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目						専攻科目						合計		
	F Y S	外国語科目 (英語)	教養系科目				共通科目合計	共通必修科目	特別必修科目群 (言語コース・社会文化コース)	選択必修科目				専攻科目合計	
			キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野				健康科学の分野	A群	B群			C群
2011から 2013年度 入学	2	10		4	4	4	34	33	11	12	16	24	96	130	
			10												

- 2 共通科目「FYS」2単位を修得すること。
- 3 外国語科目は英語10単位を修得すること。
- 4 共通科目教養系科目については、次の単位を含めて22単位以上修得すること。ただし、キャリア形成科目の単位は卒業要件単位としては2単位までしか算入できない。
 - （1）人文の分野を4単位以上。
 - （2）社会の分野を4単位以上。
 - （3）自然の分野を4単位以上。
- 5 共通必修科目33単位を修得すること。
- 6 特別必修科目群11単位を修得すること。
- 7 選択必修科目A群から12単位以上修得すること。
- 8 選択必修科目B・C群から16単位以上修得すること。
- 9 「言語コース」履修者は、3年次（5セメスター、6セメスター）の選択必修科目C群（10科目）から2単位以上修得すること。
- 10 関連科目から24単位以上修得すること。

関連科目の単位として算入できるものは次のとおりとする。

 - （1）共通科目（外国語科目・教養系科目）、専攻科目（A・B・C群科目）の「卒業要件単位数」を超える単位。外国語科目の中には中国語上級を含む。
 - （2）教職課程登録者が修得した「教職に関する科目」の単位。（上限6単位）
 - （3）他学部他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部・他学科が受講を認めない科目については、履修することができない。

教育課程における標準年次の区切線について

- ① 標準年次が実線（——）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線（-----）で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、〔履修要件〕等にしがたって履修できない授業科目もありえますので注意してください。